

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公表番号】特表2015-526518(P2015-526518A)

【公表日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2015-529929(P2015-529929)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/155 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/155

A 6 1 K 47/14

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月25日(2016.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

本発明の範囲及び趣旨から逸脱しない本発明の様々な変更及び改変は、当業者には明らかであろう。

本発明の実施態様の一部を以下の項目1-14に列記する。

[1]

モノアシルグリセリドに可溶化しているグルコン酸クロルヘキシジンを含む組成物であって、前記モノアシルグリセリドが、HLB法を用いて決定したとき、10以下の親水性-親油性バランスを有する疎水性モノアシルグリセリドである、組成物。

[2]

CHG及び疎水性モノアシルグリセリドの合計重量に基づいて、前記疎水性モノアシルグリセリドに溶解しているグルコン酸クロルヘキシジンを少なくとも5重量%含む、項目1に記載の組成物。

[3]

前記モノアシルグリセリドが、10(c mol/cm³)^{1/2}超の溶解度パラメータを有する、項目1又は2に記載の組成物。

[4]

前記モノアシルグリセリドが、1モル当たり少なくとも25キロカロリーの、グルコン酸クロルヘキシジンに対する結合エネルギーを有する、項目1~3のいずれか一項に記載の組成物。

[5]

前記モノアシルグリセリドが、2つの隣接する水素結合基を含む、項目1~4のいずれか一項に記載の組成物。

[6]

前記モノアシルグリセリドのアシル基が、C8~C18アシル基である、項目1~5のいずれか一項に記載の組成物。

[7]

前記モノアシルグリセリドが、グリセロールモノカプリレート、グリセロールモノラウレート、グリセロールモノイソステアレート、グリセロールモノオレエート、及びこれらの組み合わせからなる群より選択される、項目6に記載の組成物。

[8]

グルコン酸クロルヘキシジン1重量部当たり、1重量部以下の親水性ビヒクルを含む、項目1～7のいずれか一項に記載の組成物。

[9]

グルコン酸クロルヘキシジン1重量部当たり、0.1重量部以下の親水性ビヒクルを含む、項目1～8のいずれか一項に記載の組成物。

[10]

グルコン酸クロルヘキシジン1重量部当たり、0.1重量部以下の水を含む、項目1～9のいずれか一項に記載の組成物。

[11]

担体を更に含む、項目1～10のいずれか一項に記載の組成物。

[12]

前記担体が、ポリマーを含む、項目11に記載の組成物。

[13]

前記担体が、有機溶媒を含む、項目11又は12に記載の組成物。

[14]

チキソトロープ剤を更に含む、項目1～13のいずれか一項に記載の組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モノアシルグリセリドに可溶化しているグルコン酸クロルヘキシジンを含む組成物であって、前記モノアシルグリセリドが、H L B法を用いて決定したとき、10以下の親水性-親油性バランスを有する疎水性モノアシルグリセリドである、組成物。